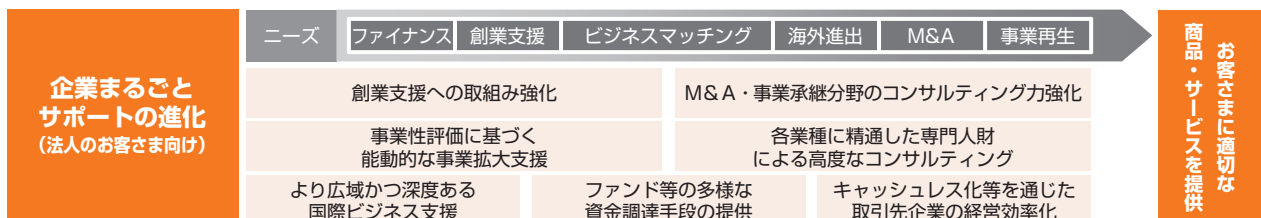


企業まるごとサポートの進化

中期経営計画「飛翔 2020 ～知恵をしぼろう～」においても、「地域の発展なくして西日本フィナンシャルホールディングスグループの発展なし」との信念の下、「企業まるごとサポート」をコンセプトに地元を重視した営業を展開し、創業期、成長期などのライフステージ〔注〕に応じたサポートや成長ビジネス分野のサポートに努めています。

今後も、資金供給者としての役割にとどまらず、お客さまのライフステージから生じるさまざまなニーズに対して、グループ丸となった「企業まるごとサポート」を展開することにより、お客さまに選ばれる「総合金融グループ」を目指します。



◎金融仲介機能の発揮に向けた取組み

西日本FHグループは、長い歴史の中で、お客さまのライフステージにあわせて、融資のみならず多面的な支援を行い、地元産業の育成・企業振興に取り組んでいます。

〔注〕ライフステージの定義

創業期：創業から5年以内、成長期：売上高平均で直近2期が過去5期の120%超
 安定期：売上高平均で直近2期が過去5期の80%～120%
 低迷期：売上高平均で直近2期が過去5期の80%未満
 再生期：貸付条件の変更、又は延滞がある期間
 5期分の決算データ等がない先は除いています。

地元重視の営業展開

2018年9月末時点で、西日本シティ銀行の与信先の9割強が地元九州向けであり、長崎銀行についても9割弱が地元長崎県向けです。

このように、西日本FHグループでは、地元重視の営業展開を行っています。

【地域別の与信先数（2018年9月期）】

西日本シティ銀行					
	全与信先	福岡県	九州 (福岡県を除く)	東京都・大阪府	その他
与信先数（先）	41,289	34,939	4,732	515	1,103

長崎銀行			
	全与信先	長崎県	その他
与信先数（先）	2,707	2,385	322

ライフステージに応じたソリューションの提供

創業期のお客さまの支援

創業、新規事業開拓を目指すお客さまに、融資や企業育成ファンドへの出資等を通じて事業立ち上げ時の資金需要やコンサルティングニーズに対応しているほか、補助金や制度融資の紹介など情報面での支援や、外部機関との連携による新たな技術の製品化・商品化の支援などを行っています。

また、金融機関に求められる起業・創業から立ち上がりまでの一貫した資金支援を実現し地域産業の育成を図る観点から、西日本FHグループでは、外部機関やグループ各社との提携、連携を通じて創業支援への取組みを強化しています。これからも、西日本FHグループの「良きDNA」を継承・発展させ、グループ丸となって地元産業の発展に資するさまざまな支援に取り組めます。

【関与した創業・第二創業〔注〕の件数（2018年9月期）】

	西日本シティ銀行	長崎銀行
創業（件）	1,711	7
第二創業（件）	50	1

〔注〕第二創業の定義

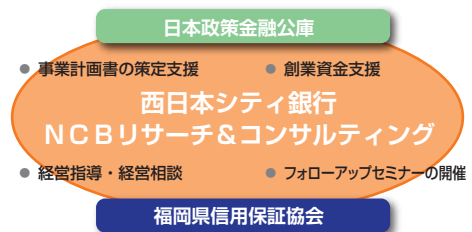
- ・既に事業を営んでいる企業の後継者等による新規事業の開始
- ・既存の事業を譲渡（承継）した経営者等による新規事業の開始
- ・抜本的な事業再生による業種を変更し再建

【創業支援先数（支援内容別）（2018年9月期）】

	西日本シティ銀行
創業計画の策定支援（先）	420
創業期〔創業5年以内〕の取引先への融資（プロパー）（先）	527
創業期への取引先への融資（信用保証付）（先）	764
政府系金融機関や創業支援機関の紹介（先）	162
ベンチャー企業への助成金・融資・投資（先）	12

■ 外部機関との連携によるワンストップのサポート態勢

西日本シティ銀行は、創業分野でノウハウを有する日本政策金融公庫と中小企業融資に豊富な経験を持つ福岡県信用保証協会、NCBリサーチ&コンサルティングと連携し、創業前の準備段階から、創業時の資金調達、創業後の事業安定までの質の高いサポートをワンストップで提供しています。



■ 創業を目指すお客さまをサポート

●NCB創業応援サロンの設置

西日本シティ銀行は、事業計画書の策定支援、創業資金支援、経営指導・経営相談、フォローアップセミナーの開催など創業に関するあらゆるコンサルティングを行い、起業家同士の交流を図る場として「NCB創業応援サロン」を小口事業資金相談窓口の「ビジネスサポートセンター（BSC）福岡」・「BSC北九州」に設置しています。

本サロンでは、創業支援に関する専門スタッフである「創業カウンセラー」が常駐し、さまざまな相談にきめ細かに対応しています。また、2018年7月からは、北九州市の創業支援施設「COMPASS 小倉（北九州テレワークセンター）」でも毎週木曜日に個別相談会を実施しています。



創業応援サロン（北九州）



創業応援サロン（福岡）

サロン来訪者累計
4,336名
創業カウンセラー
29名

2018年9月末

●創業支援セミナーの開催

長崎銀行は、西日本シティ銀行、NCBリサーチ&コンサルティング、日本政策金融公庫の4社共同で、2018年7月27日に、株式会社アドコンセプト 代表取締役 飯田 裕美氏を講師に招き、「創業者向け超実践型マーケティングセミナー～SNSを活用したブランディングと集客を考えよう～」をテーマとした創業支援セミナーを開催しました。

本セミナーには、創業5年以内の取引先多数が参加され、大変役立つ内容だったとの感想をいただきました。



創業者向け超実践型マーケティングセミナー（長崎）

●クラウド会計サービス「free for 西日本シティ銀行」の提供

西日本シティ銀行は、free株式会社と提携し、お客さまの経理業務効率化をサポートするクラウド会計サービス「free for 西日本シティ銀行」を提供しています。

当行の口座やクレジットカードから入出金明細を自動で取り込み、当行からのお知らせをホームページで確認することができます。

「free for 西日本シティ銀行」の詳細は、西日本シティ銀行のホームページでご確認ください。



●株式会社PR TIMESと提携し、中小企業に広報・PR支援を開始 ～九州の地方銀行初～

西日本シティ銀行は、2018年7月18日に、スタートアップ企業を含めた中小企業支援策拡充のため、Web上で企業情報を発信する株式会社PR TIMESと九州の地方銀行で初めて提携し、福岡県の創業・事業拡大期の企業を中心に広報・PR支援を開始しました。

本提携により、一定の条件を満たしたお客さまは、プレスリリース配信サービス「PR TIMES」をプラン開始希望日から半年間、3配信まで無料でご利用いただけます。

詳細は、ビジネスサポートセンター福岡にお問合せください。（お問い合わせ TEL：0120-713-817）



●弥生株式会社との業務連携 ～創業支援での連携は全国の銀行で初～

西日本シティ銀行は、2018年10月24日に、弥生株式会社と全国の銀行で初めて地域における創業支援を目的とした業務連携契約を締結しました。

ベンチャー企業及び創業者の支援策拡充のため、法人・個人事業主の会計業務支援を行う同社と業務連携し、「弥生」のクラウド会計・申告ソフトの紹介などを通じた創業支援を開始しました。

成長期・安定期のお客さまの支援

事業のさらなる成長を目指すお客さまに対しては、ファンド等の多様な資金調達手段の提供や、地場企業の上場支援、海外金融機関等との連携による海外進出支援等により、販路拡大や新たな事業展開等へのサポートを行っています。

【販路拡大支援先数〔注1〕（2018年9月期）】

	西日本シティ銀行
地元〔注2〕（先）	454
地元外〔注3〕（先）	16
海外（先）	85

〔注1〕 販路拡大支援先：ビジネスマッチング（契約に基づくもの）の成約、商談会やビジネスマッチングフェアでの成約、個別の紹介（契約に基づかないもの）の成約

〔注2〕 地元：福岡県を含む九州

〔注3〕 地元外：地元及び海外を除く

■ ファンド等の多様な資金調達手段の提供

西日本FHグループは、創業・新規事業支援、成長支援、事業承継支援、6次産業化支援、シーズ産業化支援、経営改善・事業再生支援等企業のライフステージに対応した各種ファンドに出資しており、金融機関の本業である貸出のほか、これらのファンドも活用しながら、地域の企業の成長を金融面から支援しています。

【西日本シティ銀行が出資する各種ファンド（注1）の活用件数（2018年9月期）】

	西日本シティ銀行
NCB九州6次化応援ファンド（件）	0
NCB九州活性化ファンド（件）	3
QB第一号ファンド（件）	9
合計（件）	12

〔注1〕 各種ファンド

- ・ NCB九州6次化応援ファンド
九州における1次産業者と2次・3次産業者との連携による新たな事業機会の創出、付加価値創造を目的としたファンド。これまでの出資累計は、合計11件7.2億円（2018年9月末）。地方銀行ではトップの実績。
- ・ NCB九州活性化ファンド
多様な成長資金の供給により、地域経済の活性化・雇用の創出に資する地場企業の支援を目的としたファンド。
- ・ QB第一号ファンド
株式会社産学連携機構九州と共同で設立したQBキャピタル合同会社が運営する、九州地域の大学の研究成果を活用した新産業の創出による九州地域活性化を目的としたファンド。

■ 地場企業の上場支援

西日本シティ銀行は、2018年7月24日、東京証券取引所及び福岡証券取引所との連携協定に基づき、「NCB IPOセミナー in 福岡」を開催しました。

本セミナーでは、地域企業の更なる成長戦略や事業承継の手段としてIPOのニーズが高まっていることから、IPOをご検討する皆さまを対象に、IPOを活用した戦略や実務経験等について講師よりわかりやすくご講演いただきました。



NCB IPOセミナー in 福岡

■ より広域かつ深度ある国際ビジネス支援

西日本FHグループは、特にアジアを中心とした海外ビジネスに関する地元企業のニーズにお応えすべく、現地の提携先や国際業務経験の豊富な専門家とのアライアンスによる、金融サポートの枠を越えたコンサルティングを行うとともに、先進的な商品・サービスを展開しています。

豊富な国際ビジネス支援態勢	
西日本シティ銀行	● 国際部/国際ビジネス支援室 → 専門的なスキル・ノウハウを有するスタッフによる国際ビジネス支援 ● ワールド・ビジネス・スクエア（WBS） → 外国送金、信用状取引といった外国為替取引を含め海外ビジネスをトータルにサポート ● NCB外為スーパーダイレクト・NCBダイレクト為替予約 → インターネットによる外国送金、輸入信用状の申込・照会などの幅広い外為取引
NCBリサーチ&コンサルティング	● 国際コンサル室 → 国際経験豊かなスタッフによる弁護士・保険会社等とも連携したきめ細かな海外進出支援 ● アジアビジネスセミナー → 国際ビジネスに関する各種セミナーの開催
九州カード	● 多様なクレジットブランド → Visa、Mastercard、JCB、AMEX、銀聯、韓国ローカルカードを基軸としたフルブランド展開



■「ASEAN 事業成長セミナー～シンガポールを起点に～」を開催

西日本シティ銀行は、2018年5月18日に、「ASEAN 事業成長セミナー～シンガポールを起点に～」を開催しました。

シンガポール経済開発庁のリム副次官をお招きし、IoTやAI等の最先端デジタル技術の活用により、製造業をはじめとする産業の高度化に取り組むシンガポールの投資環境についての最新情報を地元企業の皆さまにお伝えしました。



ASEAN 事業成長セミナー

■ 農林漁業分野への支援

西日本シティ銀行は、九州の基幹産業でもある農林漁業分野にも力を入れています。

NCB農業応援資金やNCB九州6次化応援ファンドなどによる金融面の支援のほか、自治体や業界団体と連携したセミナーなどを開催しています。



低迷期・再生期のお客さまの支援

経営改善、事業再生等が必要なお客さまに対しては、中小企業金融円滑化法に基づき、外部機関とも連携しながら、経営再建計画策定支援や貸付条件の変更等の対応を行っています。

【経営改善支援取組み先のうち債務者区分がランクアップした先、経営改善計画を策定した先数（2018年9月期）】

	西日本シティ銀行	長崎銀行
期初債務者数（先）	41,033	2,764
経営改善支援取組み先（先）	705	76
（経営改善支援等取組み率）	(1.7%)	(2.7%)
うち期末に債務者区分がランクアップした先（先）	30	2
（ランクアップ率）	(4.3%)	(2.6%)
うち経営改善計画を策定した先〔注〕（先）	485	63
（経営改善計画策定率）	(68.8%)	(82.9%)

〔注〕「経営改善計画を策定した先」とは「実現可能性の高い抜本的な経営再建計画」を策定していることにより、その他要注意先としている先。

■ 事業承継・M&A分野のコンサルティング力強化

西日本シティ銀行（プライベートバンキング部、法人ソリューション部）及びNCBリサーチ&コンサルティング（事業コンサル部）では、西日本FHグループ全体のお客さまニーズを把握し、外部機関とも連携しながら円滑な事業承継・M&Aをお手伝いしています。

【西日本シティ銀行の事業承継・M&A支援先数（2018年9月期）】

	西日本シティ銀行
事業承継支援先数（先）	316
M&A支援先数〔注〕（先）	10

〔注〕NCBリサーチ&コンサルティングによる支援先を含む。

事業性評価への取組み

西日本FHグループは、従来から地域金融の円滑化を図ることが社会的責任を果たすうえでもっとも重要な役割と捉え、中小企業のお客さまの経営支援の強化に積極的に対応しています。

事業の内容や成長可能性を適切に評価する「事業性評価」を実践することにより、経営課題の解決・事業価値の向上に積極的に取り組みます。

【お客さまの本業支援に関連する人材育成の状況（2018年9月期）】

	西日本シティ銀行
資格取得者数〔注1〕（人）	1,697

〔注1〕 資格取得者数：事業性評価や本業支援等の取組みに資する資格

【メイン取引先の状況（2018年9月期）】

	西日本シティ銀行	長崎銀行
メイン取引先〔注2〕数（先）	17,525	1,504
メイン取引先の融資残高（億円）	27,116	433
メイン取引先のうち経営指標等〔注3〕が改善した先数（先）	14,234	824
メイン取引先のうち経営指標等が改善した先の融資残高（億円）	22,795	323

〔注2〕 メイン取引先：財務データの登録が2期以上ある取引先のうち、融資残高が最も大きい法人取引先

〔注3〕 経営指標等：売上高、営業利益率等

■ 動産・債権譲渡担保融資の取組み

不動産担保や個人保証に過度に依存しない融資として、動産・債権担保融資（ABL）〔注1〕にも取り組んでいます。さらに、グループ各社を含む民間の投資会社等が組成する企業再生ファンド〔注2〕への出資を通じ、再生に取り組むお客さまの支援を行っています。

〔注1〕 借り手の事業活動そのものに着目し、商品在庫、原材料、機械設備等の動産や売掛債権を担保に資金を貸し出す仕組み。

〔注2〕 過剰債務に陥った企業の立て直しを目的に、投資家から資金を集め、再生ビジネスに関与するファンドのこと。

【動産・債権担保融資（ABL）の実績（2018年9月期）】

西日本シティ銀行

	動産・債権譲渡担保融資	うち売掛債権担保融資	うち動産担保融資
融資残高・枠設定先数（先）	48	18	30
融資残高（億円）	112.9	3.4	109.4
融資枠設定額（億円）	158.4	3.5	154.9

長崎銀行

	動産・債権譲渡担保融資	うち売掛債権担保融資	うち動産担保融資
融資残高・枠設定先数（先）	32	2	30
融資残高（億円）	16.2	0.4	15.8
融資枠設定額（億円）	0.5	0.5	0

「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

西日本FHグループでは、お客さまと保証契約を締結する場合やお客さまから既存の保証契約の見直しのお申し出があった場合、お客さまから保証債務の整理のお申し出があった場合には、「経営者保証に関するガイドライン」に基づき誠実に対応するよう努めています。

【「経営者保証に関するガイドライン」に係る取組状況（2018年9月期）】

	西日本シティ銀行	長崎銀行
新規に無保証で融資した件数（件）	3,776	139
新規融資件数（件）	15,050	603
経営者保証の代替的な融資手法として、ABLを活用した件数（件）	0	0
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	25.1%	23.1%
保証契約を変更した件数（件）	3	0
保証契約を解除した件数（件）	289	7
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数（件）	1	0
うち、メイン行としての成立件数（件）	1	0

【「経営者保証に関するガイドライン」の活用先数、及び全与信先に占める割合（2018年9月期）】

	西日本シティ銀行	長崎銀行
全与信先数（先）①	41,289	2,707
ガイドライン活用先数（先）②	3,136	112
割合 ②／①	7.6%	4.1%

経営者保証に関するガイドライン

- ・「経営者保証に関するガイドライン」とは、経営者保証（中小企業の経営者などによる個人保証）において合理性が認められる保証契約の在り方等を示すとともに、主たる債務の整理局面における保証債務の整理を公正かつ迅速に行うためのルールとして、2013年12月5日に経営者保証に関するガイドライン研究会（全国銀行協会及び日本商工会議所が事務局）が公表したものです。
- ・「経営者保証に関するガイドライン」には、中小企業等の経営者の皆様が金融機関と保証契約を締結する際や、金融機関等の債権者が保証履行を求める際における自主的なルールが定められています。